

看護図書館員のとまどい

～悩みや課題を共有し、仲間との協働を模索しよう～

看護図書館で働いていて、“他の図書館と何かが違う”と感じたことはありませんか？
分類がNDCでなかったり、ほぼ通年で実習があってレファレンスや、資料構成（複本の多さ）に影響したり…等。医学図書館・病院図書室と共通することもあるけど少し違う、同じ看護でも、大学と専門学校は？

こんなときどうしたらいいの、今こんなことに困ってます、これでいいのか不安、改まって質問した事はないけど実は聞いてみたいこと、そんなことをみんなでランチを食べながら語り合ってみませんか。無我夢中で看護図書館に十数年・・・こんな風にやってきた。昔こんなことが知りたかったなど、ベテランさんの思い出話も聞かせていただけたらと思います。

分からないけど、一人だから誰にも相談できない
夢中で業務をこなしてるけど、もっと良いやり方があるかもしれない
他の図書館ではどんな風にやってるのか知りたい、聞いてみたい
不安や疑問、今までの体験など、語り合いませんか

看護図書館の司書は少人数の場合も多く、相談できる機会も限られます。
多くの参加者からの情報を共有し、日々の業務の悩みは自分だけではなく、共通の課題と実感できたら、と思います。

日本看護図書館協会 30周年記念事業として「看護図書館管理運営マニュアル(仮)」の2年後の発行を企画しており、看護図書館の現場に役立つ内容を目指し、ランチョンミーティングをその第一歩としたいと思います。

看護図書館以外の方の参加も大歓迎です。皆様のご参加をお待ちしております。

企画：日本看護図書館協会 30周年記念事業実行委員会

委員長 今田敬子（話題提供）、

委員 釜堀千恵、石川 道子、唐澤 良英、清宮 葵、白川 智子

今泉 千代（日本看護図書館協会 30周年記念事業実行委員会担当理事）